

じゅくこう

「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、骨を砕きても謝すべし」

「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、骨を砕きても謝すべし」

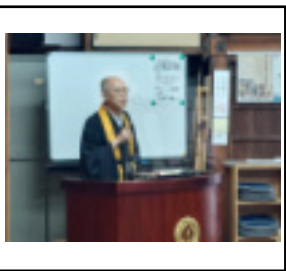
「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、骨を砕きても謝すべし」

「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、骨を砕きても謝すべし」

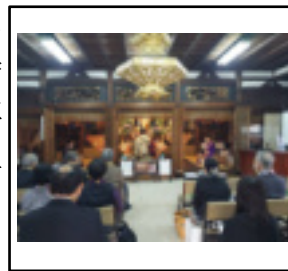
浄覚寺 報恩講法要 親鸞聖人御誕生850年・ 立教開宗800年 慶讃法要

天岸先生のご法話の様子はYouTube「浄覚寺チャンネル」でお聴聞することができます。

この度の慶讃法要は、親鸞聖人の御誕生八百五十年の記念です。また、立教開宗八百年という年にも当たります。立教開宗とはそれぞれの宗旨で独自の教義を立てて、一宗を開くという意味です。浄土真宗の親鸞聖人は『仏説無量寿経』の教説にもとづいて『教行信証』を撰述されたことにより、元仁元(一二二四)年がその年に当たります。なぜ『教行信証』を著されたのでしょうか。おそれますが、私たちにお念仏の教えを伝え残そうとしてくださったことと、もう一つ重要なことは、お念仏の教えが広まるにつれてうらやんだ既存の仏教界と朝廷に対し、念仏の正当性をあきらかにされるための書物であったのです。



一口に八百年と言っていますが、親鸞聖人がみ教えを説かれて以来、今日の私たちにまで連綿と受け継がれてきたということですから、それは、教えを聞いて「私にとつて必要」と思っただけから、必要だったからこそ大切な方に勧めてください。そして私まで届いてくださいました。



第49号
(通算389号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・5月17日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットの無料レンタルもあります。お友だちをお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

しかるに諸寺の釈門、

教に昏くして

真仮の門戸を知らず、

洛都の儒林、

行に迷ひて邪正の

道路を弁ふることをなし。

親鸞聖人「教行信証 後序」



御文章に聞く(第43回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

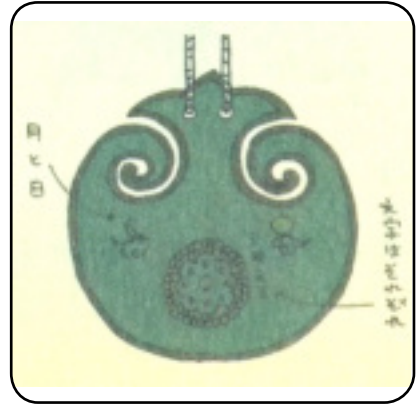
末代無智章(五帖第一通) 末代無智の在家止住の男女た
らんともがらは、こころをひとつ
にして、阿弥陀仏をふかくたへ
まいらせて、さらに余のかたへ
こころをふらず、一心一向に仏た
けたまは申さん衆生をば、たと
い罪業は深重なりとも、かならず
弥陀如来はすくいませすべし、
これすなわち第十八の念仏往
生の誓願のこころなり、かくのご
とく決定してのうえには、ねても
さめてもいのちのあらんかぎり、
称名念仏すべきものなり、
あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。「仏たすけたまへ」。仏さまたすけてくださいとお願いしなければならぬのは、阿弥陀さまがたすけてくだ

さるのかどうか不確実の場合でした。しかし、阿弥陀さまのおたすけが確定している場合には、「お願いします」という不安な願いは起こりません。そのような場合の「たすけたまへ」とは、阿弥陀さまが必ず救うと決定してください。そのことを受け入れて、どうぞお言葉のままに実行してくださいと、受け入れ促す意味の言葉となります。

蓮如上人が用いられた「仏たすけたまへ」の言葉には、阿弥陀さまの「必ずたすける」との仰せが先にあつたことを忘れてはなりません。私が願いをかけるのではなく、先に阿弥陀さまが私のことをご覧になって、何ともおぼつかない私のことを放っておけずに、「そのままの私」を救い取れるように全てとのえた上で、「必ず救う、我に任せよ」と願っておられるのです。だから私はお任せするだけなのです。

仏教語辞典



雲版

鎌倉時代に禅宗とともに伝わった。禅寺で食事の時間などを知らせるために打つ雲形の器具。浄土真宗でも使用して、法要や講義開始の五分前などに雲版を打つ。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。猛威を振るつた新型コロナウイルスも少しずつ落ち着きを見せているでしょうか。四月は色々な行事がありました。当山の報恩講・慶讃法要に始まり、毎月のヨガ教室、国の重要無形民俗文化財に指定されている四天王寺の聖霊会に楽人や舞人として出仕をさせていただき、そして最後には富山県にあるお寺での記念法要に出動させていただきました。

富山に行く直前に突然スマホの画面が砂嵐のようになり、何も見えなくなっていました。電車の切符、時刻表の検索、現地での地図表示など、かなりの部分をスマホに頼っている自分に気がつきました。便利に利用することは良いですが、依存して振り回されないようにしたいものです。(釋法道)

行事案内

日時・五月十一日(木) 十二時より
行事・河内蓮如忌法要 参拝
場所・久宝寺御坊 顕証寺
講師・塚本一真 先生
(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

※出戸イオンのタクシー乗り場(南側歩道橋下)に午前十一時までにお集まりください。タクシーに分乗し、顕証寺さまへ参拝させていただきます。なお時間になり次第出発いたします。